



日産合成工業株式会社 メールマガジン

2017・10 第129号



「牛にひかれて善光寺参り」あるいは牛を守り神とする虚空蔵寺への「十三参り」など、牛は知恵物として尊ばれてきました。また、禅の教えに「十牛図」があります。悟りにいたる10の段階を図と詩で現したもので、仏性の象徴である牛を見つけるための旅に出る「尋牛」から始まり、牛を飼いならし、再び世俗の世界に入り、人々に安らぎを与え、悟りに導く「入廛垂手」に至る道筋を説いています。このように、牛は太古の時代から、私達の生活に根ざした家畜として、大事に扱われてきました。

4世紀から7世紀にかけて、百済から改良のための食肉牛が輸入されるようになりました。その際に、敦賀を経由して平安京（奈良）に移動する途中に、たまたま但馬海岸に漂着して飼育されるようになったのが、黒毛和種のルーツとされています。1200年前の「続日本書紀」には但馬牛、耕運、曳用、食用に適すと記述されています。中国地方では海岸にある砂鉄と山からの木炭を用いた“たたら製鉄”が行われており、その木炭を山から運び出すのに牛が活躍しました。山々は有力者が所有しており、その山々ごとに牛の閉鎖育種が行われ、それら

は「蔓（つる）」とよばれ、代表的なものとしては「あつた蔓」、「ふき蔓」、「よし蔓」などの系統牛として確立されました。しかし、時代が進み、明治時代になると、在来種はつまらないとばかりに外国種との交雑が行われ、島根はデボン、広島ではショートホーン、兵庫ではブラウンスイスが選択されました。しかしながら、予想に反して余りにも雑駁なものとなったので、1912年に12年間にわたる外国種との交雑は中止され、1937年には登録が開始されました。交雑を中止して32年後に、ようやく品種として認定されました。萩市の日本海に浮かぶ見島には、唯一外国種との交雑を受けなかった天然記念物の見島牛がいます。強力なサンが入る遺伝子を保有しています。



このような時代背景を持つなかで、5年に1回開催される第11回全国和牛能力共進会宮城大会にはせ参じてきました。会場は東日本大震災で津波に襲われた地域で、大変な思いをしたこととお察しいたします。ピカピカに磨かれた自慢の牛達はどこか自慢げで、可愛いものでした。牛達が入場してくると、各県の応援団から歓声が湧き上がり、いままでの苦勞がねぎらわれたのではないのでしょうか。大変な人出で、大混雑でしたが、化粧された鼻環、削蹄の小刀をはじめ飼料、動物薬、書籍刊行物などがたくさんあり、ひやかしながら楽しみました。全国から関係者が仙台に集合しており、そこでも大いに盛り上がったことなのではないのでしょうか。

一方、他方に目を向ければ、主な飼育場所である中山間地域では過疎化と高齢化が進み、大幅な近代化も難しくなるのではないかと危惧しています。また、有名な種雄牛との交配に偏り、今後の遺伝育種に問題が起きないのだろうかとも、頭をよぎります。しかし、仙台で見かけた牛飼いの人達は、老若男女を問わず、元気一杯で、子牛が高値なこの時期に、次世代にバトンタッチできる礎を築いて欲しいと願うばかりです。

さて、ニッサンメールマガジン第129号をお届けします。

酪農家戸数と乳牛頭数の統計

農水省は平成 29 年 2 月現在の畜産統計を発表しました。全国の酪農家戸数は 1 万 6400 戸で、前年に比べて 600 戸（3.5%）減少しました。乳牛頭数は 132 万 3000 頭で、前年に比べて 2 万 2000 頭（1.6%）減少しました。内訳を

酪農家戸数・乳用牛頭数の推移

平成年次	戸数	頭数(千頭)	経産牛(千頭)	1戸当たり頭数
20	24,400	1,533	998	62.8
21	23,100	1,500	985	64.9
22	21,900	1,484	964	67.8
23	21,000	1,467	933	69.9
24	20,100	1,449	943	72.1
25	19,400	1,423	323	73.4
26	18,600	1,395	893	75.0
27	17,700	1,371	870	77.5
28	17,000	1,345	871	79.1
29	16,400	1,323	852	80.7

見ますと、経産牛は 85 万 2100 頭、未經産牛は 47 万 1000 頭で、前年に比べてそれぞれ 1 万 8900 頭（2.2%）、3100 頭

（0.7%）減少しました。

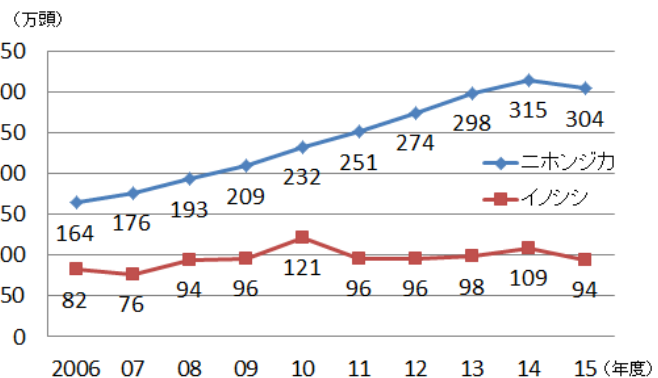
一戸当たりの飼養頭数は 80.7 頭で、前年に比べて 1.6 頭増加しました。10 年前

（平成 20 年）に比べますと、酪農家戸数は 8000 戸（33%）、乳用牛頭数は 21 万頭（14%）減少しています。一戸当たりの飼養頭数は 17.9 頭増加しています。

全国のニホンジカ及びイノシシの個体数推定等の結果について

環境省は平成 29 年度のニホンジカとイノシシの個体数について発表しました。近年、ニホンジカ等の鳥獣については、急速な生息数の増加や、生息域の拡大により、自然生態系、農林水産業及び生活環境に深刻な被害を及ぼしており、積極的な捕獲による個体群管理が不可欠となっています。

このため、環境省と農林水産省は「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」（平成 25 年 12 月）を共同で取りまとめ、「ニホンジカ、イノシシの個体数を 10 年後（平成 35 年度）までに半減」することを当面の捕獲目標としました。平成 27（2015）年度末の



全国のニホンジカの個体数は中央値約 304 万頭（90%信用区間約 224 万～456 万頭）、イノシシの個体数は中央値約 94 万頭（90%信用区間約 73 万～123 万頭）と推定されました。平成 25 年度末との比較でニホンジカ、イノシシともに減少となり、特にニホンジカについては個体数推計において初めて増加が止まり減少に転じている可能性があることが明らかになりました。

宮城和牛全共の結果について

仙台市で開催されました全共には、5 日間で延べ 41 万 7 千人が入場しました。最高位の名誉賞（内閣総理大臣賞）に「種牛の部」第 4 区（系統雌牛群）優等賞の 1 席の大分県・豊肥和牛育種組合、「肉牛の部」は第 8 区（若雄後代検定牛群）同 1 席の宮崎県の出品牛が獲得しました。

全9区の上位入賞ポイントで競った「出品団体表彰」の首席は、九つの区のうち四つの区でトップの優等賞1席（農水大臣賞）を獲得した鹿児島県が受賞しました。

枝肉の部では、第9区優等賞1席を受賞しました鹿児島県鹿屋市の薬師さんの「忠久福」号が5万1円/kgで、1頭価格は2475万495円を記録しました。

酪農豆知識第114号の概要およびURL

前号の113号では、家畜の薬剤耐性菌をめぐる動向について概説しました。今号では1950年代から広く使われてきました硫酸コリスチンを取り上げ、飼料添加剤としての使用禁止に至る経緯を整理しました。

「酪農・豆知識」は、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「技術情報」をクリックし、「酪農・豆知識」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

お知らせ

印刷用のPDFファイル

印刷用にPDFファイルを添付しました。PDFファイルをご利用いただくためには、Adobe Readerが必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく願います。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

QRコード

このメールマガジンを紙媒体でお読みの方が、容易に[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできるようにQRコードを添付しました。

